

第29回宇宙開発委員会（定例会議）

議 事 次 第

1. 日 時 平成10年7月22日（水）
 14:00～
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
 (2) H-II A固体ロケットブースタ（SRB-A）地上燃焼
 試験結果について
 (3) その他
4. 資 料 委29-1 第28回宇宙開発委員会（定例会議）議事要（案）
 委29-2 H-II A固体ロケットブースタ（SRB-A）地上
 燃焼試験結果について

委 29 - 1

第28回宇宙開発委員会（定例会議） 議事要旨（案）

1. 日 時 平成10年7月15日（水）
14:00～15:00
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 前回議事要旨の確認について
(2) 熱帯降雨観測衛星（TRMM）による気象観測画像の取得及び今後の予定について
(3) 技術試験衛星Ⅶ型（ETS-Ⅶ）大型展開アンテナの航空機搭載技術実証実験の実施経過について
(4) 日ロ宇宙協力について
4. 資 料 委28-1 第27回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）
委28-2 熱帯降雨観測衛星（TRMM）による気象観測画像の取得及び今後の予定について
委28-3 ETS-8 大型展開アンテナの航空機微小重力実験結果速報
委28-4 日ロ宇宙協力について

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理
宇宙開発委員会委員

〃

長 柄 喜一郎
末 松 安 晴
秋 葉 鐔二郎

関係省庁

文部大臣官房審議官（学術国際局担当）
通商産業省機械情報産業局次長
郵政大臣官房技術総括審議官

若 松 澄 夫（代理）
林 良 造（代理）
甕 昭 男（代理）

事務局

科学技術庁研究開発局長
科学技術庁長官官房審議官
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

池 田 要
中 澤 佐 市
船 橋 英 夫 他

6. 議事

(1) 前回議事要旨の確認について

第27回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）（資料委27-1）が確認された。

(2) 熱帯降雨観測衛星（TRMM）による気象観測画像の取得及び今後の予定について

宇宙開発事業団地球観測システム本部 地球観測データ解析研究センタ
小川研究ディレクターより、資料委28-2に基づき、熱帯降雨観測衛星（TRMM）による海面温度の計測及び今後の予定について説明があった。

これに関し、委員より、

ア. 海面水温偏差の図の絶対の基準は何か

イ. TRMMのデータはどこが管理しているのか

ウ. 環境観測技術衛星（ADEOS-II）の高性能マイクロ波放射計（AMSR）や改良型高性能マイクロ波放射計（AMSR-E）とは波長が似ているのか

エ. 今までこのようなセンサはなかったのか

との質問があった。

これに対し、宇宙開発事業団より、

ア. 気象庁で過去に取得したデータ等を基準としている

イ. 元々は米国航空宇宙局（NASA）のデータでありNASAが管理している。共同プロジェクトということで、日本もデータを利用できる

ウ. 波長も似ており、ADEOS-IIでもほぼ同じような観測が継続できる

エ. 雲の影響をほとんど受けず、海面温度を精度よく計測できるマイクロ波センサは、TRMMのTMI（TRMM Microwave Imager）が初めてのものである

との回答があった。

(3) 技術試験衛星VIII型（ETS-VIII）大型展開アンテナの航空機搭載技術実証実験の実施経過について

宇宙開発事業団衛星システム本部 本間ETS-VIIIプロジェクトマネージャより、資料委28-3に基づき、技術試験衛星VIII型（ETS-VIII）大型展開アンテナの航空機搭載技術実証実験の実施経過について説明があった。

これに関し、委員より、

ア. アンテナの模型は相似則を用いているのか

イ. アンテナの形状は展開後はコントロールできないのか

ウ. 展開の精度は何年ぐらい守れるのか

これに対し、宇宙開発事業団より、

ア. 展開機構は実寸大でトラスの長さは半分としている
イ. コントロールできない
ウ. クォーツ材を使っており、寿命には問題ない。放射線や紫外線照射試験を行って物性の劣化等の問題がないことを確かめている
との回答があった。

(4) 日ロ宇宙協定について

科学技術庁研究開発局 調査国際室 吉村室長より、資料委28-4に基づき、日ロ宇宙協力について説明があった。

これに関し、委員より、

ア. 資料委28-4 参考にあるロシアの提案とI S T C (国際科学技術センター: International Science and Technology Center)の研究との関連はどうなっているのか

イ. 第1回日ロ宇宙協力合同委員会には我が国からは文部省も出席したのか

との質問があった。

これに対し、科学技術庁より、

ア. I S T Cの研究との関係については説明されていない

イ. 文部省を含め、通商産業省、気象庁の出席もあった

との回答があった。

以 上

H-II A 固体ロケットブースタ (SRB-A)
地上燃焼試験結果について (速報)

平成10年7月22日
宇宙開発事業団

1. 報告事項

宇宙開発事業団が平成11年7月21日に実施したSRB-A原型モータ (EM) の地上燃焼試験結果について報告する。

2. 試験目的

今回の地上燃焼試験の目的は、モータ燃焼特性取得による設計の妥当性を確認する。

3. 試験結果

試験結果は以下のとおりで、温度、歪み等の計測データを良好に取得し、所期の目的を達成することができた。

なお、燃焼試験後の点検で供試体及び試験設備に異常がないことを確認した。

・着火時刻 15時30分

	実測値	(計画値)
・最大推力 (海面上)	約 234 tonf	(217)
・最大燃焼圧力	約 115 kg/cm ² A	(108)
・燃焼時間	96.5秒	(94)

*試験時の天候は曇りで、東南東の風2.6m/s、気温29.1度、湿度83.4%、気圧1005ヘクトパスカル

4. 今後の予定

今後は、取得したデータの解析を実施するとともに、モータケースを製造工場に返送し燃焼試験後の点検及び評価を実施する。

以 上